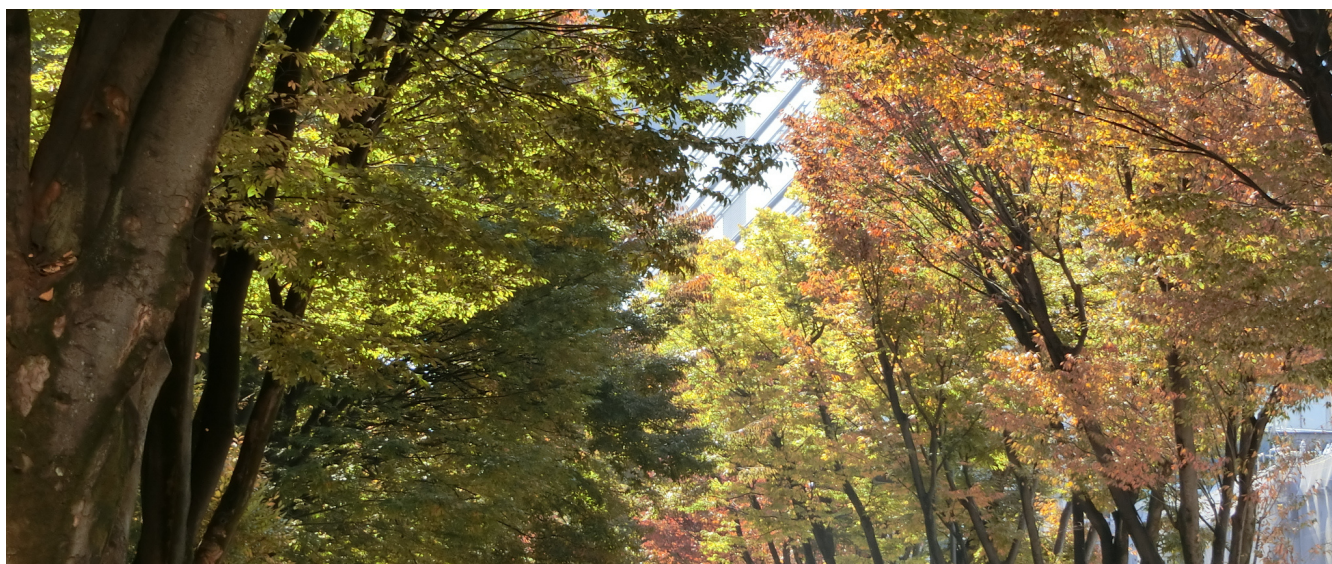




# 小林勝哉

## 社会保険労務士事務所

事務所通信と最新情報



本号の内容

パーソナルに励ましを贈る

人への投資へ

がん治療と仕事の両立へ

アピアランス（外見）ケアを

## パーソナルに励ましを贈る

特定社労士とユーマフとyayAと

2022年はシンガーソングライター 松任谷由実さんのデビュー50周年。メジャーデビューした「あの日にかえりたい」の最後に扉（トビラ）が出てきます。2022年メジャーデビューのシンガーソングライターyayAさんは「トビラ」の曲で「それは壁じゃないトビラなんだ何度でも開く」と励ましを贈っています。

パーソナルに励ましを贈る松任谷由実さんたちの歌に込められた思いは、またパーソナルに励ましを贈る中に普遍性を見出す私たち社会保険労務士の姿勢にも通じると思います。

当事務所は一人の人を大切にしている社会保険労務士事務所です。これからも「人を大切にする企業」づくりから「人を大切にする社会」の実現へと、生き生きとした社員の皆様の笑顔のために、経営者の皆様のおきパートナーとして、活動してまいります。



## がん治療と仕事の両立へ アピアランス（外見）ケアを

専門相談窓口の設置が可能に

人生100年時代の現代では、老いに伴って病気になることは当たり前です。治療をしながら、社会参加の使命の人生を歩んでいける時代が求められています。

そのため厚生労働省では、がん治療と仕事の両立支援の一つである、アピアランス（外見）ケアの取り組みを進めています。治療中は抗がん剤治療などで髪が抜けたり脱色や爪の変形など、外見の変化が気になり落ち込みがちです。

そこで医療用ウィッグ（かつら）や爪の手入れ、スキンケアなど外見の変化に伴う苦痛を和らげるアピアランス（外見）ケアの全国展開をめざし、医療機関にアピアランス（外見）ケアの専門相談窓口を設置するモデル事業が開始されます。

当事務所ではこれからも両立支援コーディネーターとしてさまざまなご支援を行ってまいります。どうぞお気軽にご相談ください。

## 人への投資へ

政府の総合経済対策にも、学びなおし（リスキング）、成長分野への労働移動などが盛り込まれました。

セイフティーネットとしては業績状況の厳しい企業には経過措置など配慮は欠かせませんが、これからの人的資本経営の時代にむけて、より人への投資の加速が期待されます。



## 小林勝哉 社会保険労務士事務所

〒162-0837

東京都新宿区納戸町 33 東京左官会館 3階

TEL : 03-6228-1336

FAX : 03-3269-2737

